

もう一席は長州ファイブの「英国密航」。田辺一鶴が制作したもので、英国へ密航する5人の姿を軽快に話され、会場を楽しませました。

とくに「道中づけ」といわれる、地名をたまたみ掛けて話される場面がある「英国密航」では横浜を出港してロンドンへ到着するまでの地名を読みこんだ長セリフに、会場は沸きました。日本の伝統芸能「講談」を通して歴史を楽しく知ることができ豊かな時間となりました。

講師は田辺一邑（たなべ いちゆう）さん。1997年田辺一鶴（いっかく）に入門、2009年真打昇進のベテランです。

「明君毛利敬親」は借金漬けの長州藩を立て直した藩主毛利敬親の功績の話です。18才で藩主となり、儉約につとめ、村田清風など登用をし、藩士の模範といえる在り方を示した毛利敬親の明君ぶりが語られました。



等身大の毛利敬親公と講師田辺一邑さん

今年2018年の9月8日は、元号を明治と改元した日からちょうど1500年目にあたります。

それを記念して、明治改元の日150年記念講演会「明君毛利敬親【新作】、長州五傑の『英国密航』」を開催しました。

講演は2席。まず、激動の幕末の長州藩を導いた藩主毛利敬親について、これまで講演話がなかったことから、新作を制作していただきました。輝かしい初公開の講演会となりました。



身ぶり手ぶりで臨場感たっぷり...



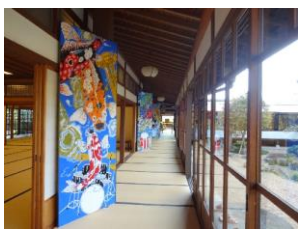
現代アート (鈴木啓二郎)



着物リメイク(片山涼子)



徳地和紙造花(斉藤純子)



絵画・立体(ロベルト・ビビリ)



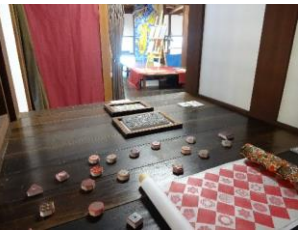
線描画 (田村覚志)



書アート(村上真実)



現代アート (YICA)



消しゴム版画(竹友美樹)



アニメーション(岡田ともか)



和紙人形(富永嘉子)

11月7日(水)〜12日(日)、菜香亭全館でアート展を開催しました。山口で活躍中の8人1グループのアーティストが大集結。政治家だけではなく文人・画家も集った菜香亭で山口のアートシーンを盛り上げたいという思いです。様々なジャンルのアートが溢れた5日間。「菜香亭ワンダーランド」をお楽しみいただきました。

# 西の菜時記

平成31年2月20日発行  
第51号  
発行元: 山口市菜香亭  
指定管理者  
特定非営利活動法人  
歴史の町山口を甦らせる会

## 明治改元の日150年記念講演会 「明君毛利敬親【新作】／長州五傑の『英国密航』」開催



永別の二人



再び涙する二人



帰郷する二人



飛躍する二人



親戚となる二人

明治42年(1909)、俊輔はハルピンで暗殺されました。俊輔の葬式は国葬となり、初めて日比谷公園で行われました。そこは開多と俊輔が初めて出会った元長州藩松田藩邸があった場所でした。

弔辞は開多が読みあげ、「嗚呼哀哉」と四回も叫びました。開多は6年後80歳で亡くなり、葬儀会場は同じ日比谷公園でした。

明治41年(1908)、72歳の開多が肝臓を患って危篤状態になりました。俊輔は仕事を休んで枕元でつきっきりの看護をしました。葬式の手配までしており開多の死を覚悟しました。手厚い看護の甲斐もあり開多は奇跡的に回復しました。快気祝いの席で、「おまえ、死んじや困るから、大事にしてくれよ」と俊輔が言うとおまえこそ大事にしてくれ」と開多が言い、二人で抱き合って泣きました。

開多も俊輔も、山口に帰って来たときは、料亭菜香亭で宴会しました。

開多は料亭の名前をつけて自ら「菜香亭」と揮毫しました。俊輔は、「菜香亭主人の為に」「一家天地自春風」と揮毫してくれました。

それぞれ大広間に掲げてあります。

開多は政府の外交面で活躍し、俊輔に頼まれると損な役割でも引き受けました。また経済界との結びつきが強く大御所と呼ばれる活躍をしました。

経済に強い開多に財政面を任せ、俊輔は憲法定定など国家づくりに専念しました。

明治6年開多は政府から追い出される形で辞任しました。開多の評価が下がっても気にすることなく、俊輔は開多の兄の四男の博邦を養子に迎えました。

開多の方にも男の子が生まれなかったため、兄の次男勝之助を養子に迎えました。

二人の友情は縁戚関係に発展したのです。

## 新進アーティストサポート事業 第5回アートdeおもてなし 開催



右の奥、お茶碗を手にしているのがおごうさん

菜香亭の5代目で最後の主人だった「おごうさん」こと齊藤清子さんは、大正6年生まれ。おごうさんはスポーツ万能で高跳びの選手でした。一方で上の写真のように茶道や華道など老舗料亭のお嬢さまとしての素養を培われました。

おごうさんのおもてなしの心と気風の良さはこのような少女期にも育まれたのでしょうか

高跳びを練習中のおごうさん

## 生誕101年おごうさんアルバム



10月15日(月)、平成16年10月開館からの入館者が50万人に達成し記念のセレモニーが行われました。

50万人目の来館者は、下関市からお越しの中村さんご夫妻。

今年金婚式をお迎えのご夫妻には、記念のセレモニーとなりました。

渡辺市長から花束、つづいて河野館長からは、記念品が贈呈されました。

毎年約3万5千人の方にご来館いただいています。みなさまのご来場を職員一同心よりお待ちしております。

## 山口市菜香亭入館者50万人達成記念

# 西の菜時記

平成31年2月20日発行  
第51号  
発行元: 山口市菜香亭  
指定管理者  
特定非営利活動法人  
歴史の町山口を甦らせる会